

## 『毎月おいでよ ふれあいサロン』

ふれあいサロンでは毎月さまざまな企画が行われています。ぜひお気軽にご参加ください。

毎月第3土曜日  
10:00～13:00

At-Kyoto  
ベビー&キッズ用品交換会

スタジオぐるり  
ハイザイ・アートワークショップ

毎月第3日曜日  
10:00～12:00

左京朝カフェ企画運営チーム  
「左京区制100周年を祝うアイデアを話そう!」

毎週土曜日  
14:00～19:00

京都Tera.Coya  
子ども食堂／フリースクール

毎週水曜日  
11:00～12:00

当センター主催  
サロン園芸部

毎月第4木曜日  
12:00～14:00

当センター主催  
ふれあい食事会

毎月第2木曜日  
17:00～19:00

あすかい子ども食堂実行委員会  
あすかいこども食堂

※ 開催日時は表記のものから変更する可能性があります。  
詳細は当センターホームページをご覧ください。

### 左京西部ふれあいサロン

### 2F 左京西部いきいき市民活動センター

会議室・和室貸し出し：300～600円/時間  
コピー機利用：カラー20円/モノクロ10円  
市民活動に関する相談・情報公開  
貸しロッカー：830円/月



TEL：075-791-1836  
FAX：075-712-0138  
MAIL：info@sw-ikiiki.com  
URL：http://gekken.net/SW-IKIKI/

〈開館日〉月～土曜日：10時～21時  
日曜日：10時～17時  
〈休館日〉火曜日・年末年始（12/29～1/4）

#### ACCESS

（電車）京阪・叡電「出町柳」駅より徒歩7分  
（バス）（京都駅）京都バス17号「御蔭橋」より徒歩5分  
（四条河原町）京都バス21号・41号「御蔭橋」より徒歩5分  
（京都バス3号・201号）「出町柳」より徒歩7分  
※専用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



## 左京西部 いきいき 通信

vol.32 2024.7.25



## ブラジル カポエイラ

Topics

## 養正小学校 出前授業

左京西部いきいき市民活動センターから歩いて5分の養正小学校。  
今年度、養正小学校といきセンが連携して、多文化共生学習を行っています。  
4月からの〈これまで〉と、9月のデルフェスに向けた〈これから〉を特集しました。



## コリア アリアン

## 速報

### 出町柳の文化祭「かもがわデルタフェスティバル」今年も開催!

日時 | 2024年 9月7日(土)～15日(日)

### メインイベント「多文化まつり」

盆踊り、パフォーマンス、多国籍屋台、ワークショップなど  
日時 | 2024年 9月15日(日) ※雨天決行。荒天の場合は16日(月・祝)に順延  
会場 | 養正児童公園(希望の広場)など

詳細はこちら▶





# <これまで>と<これから>

## 養正小学校の多文化共生学習

養正小学校といっしょに、多文化共生学習を行っています。  
4月から月1回行ってきた／行っていく取り組みをまとめました。  
学習の成果は、9月の「デルフェス」で皆さんにお披露目される予定です！

### 4月 新聞づくり

伏見区で「子ども新聞」を発行されている服部加奈子さんを講師として呼び、先生たちに作り方をオンラインでレクチャー。その後、子どもたちが地域にあるさまざまな国の飲食店を取材し、「養正多文化新聞」を現在制作中。

### 5月 デルフェスミーティング

コミュニケーションワークショップを交えて、デルフェスでやってみたいことを子どもたちに提案してもらいました。たくさんの提案の中から厳選して、デルフェスへと結びつけていきます。

### 6月 ブラジル文化

養正地域に根付いたブラジル文化。3年生の授業では伝統武術「カポエイラ」を体験。また、PTA主催の「サマーコンサート」では一般の方も招待して、3つのブラジル文化を体験しました。



「サマーコンサート」の様子は“note”で詳しく触れています。左のQRコードから！



### 7月 コリア文化／デルフェスミーティング

京都市で民族学級があるのは全部で2校。そのうちの1つが養正小学校です。全学年、年に2回コリアの文化に触れる時間があります。出前授業では、朝鮮民謡「アリラン」をバンドの生演奏に合わせて歌って踊ってみました。速いテンポにも遅いテンポにも見事に乗りこなす3年生。デルフェスでも披露される！

### 9月 美術作り

昨年度末の2月にカポエイラ体験をした前3年生(現4年生)たちと一緒に、デルフェスを彩る美術を作ります。

## 9月 かもがわデルタフェスティバル

## 木村教頭 & スズキキヨシ インタビュー

14年間養正小学校に勤める木村教頭と、出前授業をコーディネートするスズキキヨシさんに、出前授業の経緯や今後の展望についてお話を伺いました。



―出前授業にはどのようなきっかけがあったんですか？

木村：小学校も含めてこの地域の良さを知ってほしいと養正小に来てからずっと思っている中で、合奏部ですとお世話になっているデルフェスと何か一緒にできないかなと。デルフェスは多文化共生を理念に掲げていて、それは養正小が大事にしている根幹でもある。「これはぜひ」と思って去年のお祭りでスズキさんを呼び止めました。暑いし忙しそうだったので、勇気がいったんですけど(笑)。

―養正小・地域の良さとは？

木村：養正小学校に対してよくないイメージを持たれていることがある。実際はそんなことなく、すごく温かい。うちには外国籍の子たちもいますが、受け入れる土壌がある。それが多文化共生なのかなと僕は理解しています。

スズキ：京都の中でもこの辺りは大学

―出前授業の構想は？

木村：デルフェスでの発表に向け、その道のりで子どもたちの意欲が高まっていったらよいなと考えていました。そのためには、子どもたちがいろいろ学ぶ必要があるかと。4月からのスズキさんの様々な出前授業の提案や本校の코리아みんなぞく教室の講師である金先生のアリランの授業によってとても質の高い多文化共生学習になっています。

スズキ：来年や再来年もあることを前提としているので。だから発表といっても、ここで何かしなくてはいいけないではなくて、とりあえずやってみて、それを修正しながらやっていけばいい。いろんなことをやりながらお互いのことを知る、っていうところでの地域だと思っし、一番面白いことですよ。

木村：続けていけたらと思いますし、自分の理想なんですけど今の子たちが大人になったときに祭りに関わってほしいと思ってるんですよ。

スズキ：祭りだけじゃなくて、「あそこのおばあちゃん、ちょっと大変な思いしてて...」とか、「この地域でこういうことがあるといいよね」という風に繋がっていったら面白いね。

―これまでの授業を振り返ると？

木村：子どもたちの意識が変わっていくのが目に見えてわかる。多種多様な授業があるので、学びに広がりや深まりがある。子どもたちが単純に「デルフェス楽しみ」じゃなくて、それに向けて「こういうことが大切なんだよ」というのを知ること、意識が高まっていく。プラス楽しい。アリランを単純に踊るんじゃなくて、来ている人と一緒に踊るとか。他の人が楽しんできてくれている様子を見て、子どもたちは「嬉しいな」「やって良かったな」とすごくいい気持ちで終わるのではないかな。終わってみたいともちろんわかんないですけど、そういう手応えは感じています。

ようせい子ども会・いきせつ 共同企画  
子ども向け夏休みアート体験

### ようせい・アート・むら

7月25日(木) 17:00-19:00  
演劇(えんげき)で遊ぼう！  
8月1日(木) 17:00-19:00  
白塗り！顔を真っ白にしてみよう！  
8月12日(月・祝) 17:00-19:00  
ジャグリング！  
8月22日(木) 13:00-15:00  
ハイサイズで工作！  
8月29日(木) 17:00-19:00  
ヨーダ企画とダンス！  
9月5日(木) 17:00-19:00  
演劇(えんげき)で遊ぼう！

詳しくはこちらは

